

# 美幌町学校運営協議会だより

※E-Mail [kyouikug@town.bihoro.hokkaido.jp](mailto:kyouikug@town.bihoro.hokkaido.jp) (学校教育)

※〈新設〉美幌町ホームページ：教育委員会・小中学校からのお知らせ

令和3年度  
第5号

令和3年11月1日号  
美幌町教育委員会  
コミスクコーディネーター

## 学校以外でも作品が展示されています。……図書館ギャラリー

(旭小学校:4年「図書館見学とインタビュー」)

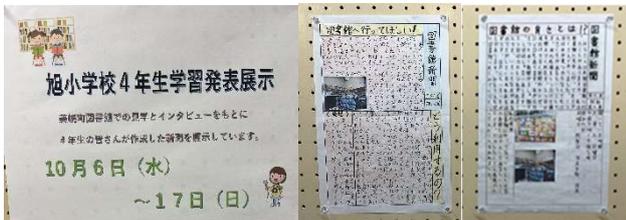
**展示は終了しましたが……**

- ◆10月6日～17日までの12日間、旭小学校の4年生の学習発表「図書館見学とインタビュー」の作品が展示されていました。新聞形式で、調べたことやインタビューで分かったことを、自分の考えでまとめ上げたものです。図書館には、15万冊の本がある！図書館での本の探し方、図書館のきまりなど事前に調べたいことを決めてから、図書館の見学をしたのだと思います。
- ◆自分の考えをもとに行動できた生きた勉強をすることができたと思います。

(東陽小学校:2年「にじいろの魚」感想文と絵)

**展示中 11月14日まで**

- ◆11月14日までの間、東陽小学校の2年生の学習発表「にじいろのさかな」の読書感想文と絵が展示されています。本に出てくる“にじうお”を絵の具だけでなくキラキラした色紙を使って表現していました。子どもたちそれぞれが、心に残った場面を工夫して絵に表現したり、感想を書いています。友達ができてよかった……という気持ちは本の中だけでなく、学校生活の中でも感じていることなのでしょうね。まだ展示していますのでご覧ください。



【旭小4年生学習発表】



【新聞の作品例】



【東陽小2年生学習発表】



【にじいろ魚の感想画と感想文】

## 一日防災訓練を実施

- ◆10月11日の美中での一日防災訓練から始まって町内の各学校で防災訓練が行われています。
- ◆災害は、いつ起きるのかわかりません。多くの子どもたちを預かっている学校では、安全に避難できるように集団での訓練を行っています。と同時に、ひとりひとりが、自分の身は自分で守る知識と行動力を身につけることも必要なのです。
- ◆災害には、地震、火災、川の氾濫水害)、噴火などがありますが、子どもたちが経験しているのは、主に火災と地震への対応です。避難時の死亡事故例として、慌てて逃げるために近くにいる人を押し倒してしまい、転んだ人の上を大勢の人が踏んづけて逃げる“圧迫死”が多いのです。(エスカレーターなど)
- ◆見えない怖さが、行動を変えてしまうからです。今回の訓練では、指示をきいて安全に避難する姿が見られました。



## 地震

があったら？

### 避難時の約束！

- お：押さない (あわてない)
- か：かけない (走らない)
- し：しゃべらない (話をしない)
- も：もどらない (命が一番大事)

上の合い言葉は、子どもたちは知っています。

非常の際には、知識として学んだことを行動できるようになってほしいです。



【美小1年机の下で】



【美小1年消防車見学】



【東陽小 防災】



【中学校：気象台職員による自然災害学習】

## 子ども食堂(茶来楽)を訪問



一時活動を控えていた“子ども食堂”が活動を再開したので、栄町の茶来楽を訪問して活動の様子を伺ってきました。

子ども食堂は、町内3ヶ所で活動しています。今回訪問した栄町「茶来楽」では、5人の方々でお世話をしていました。

時間は、17:00~19:00 地域で子ども食堂を利用しているかたと子どもたちがふれあいを深めてくれれば・・・という願いを持って活動していると言います。

メニューは、一鍋のできるもの中心で、カレーライス、シチューなどを提供しているとのことでした。利用にあたっては、以下の通り

- ◆対象・・・全町民どなたでも利用可能
- ◆利用料・・・18歳（高校生まで）無料。18歳以上 200円
- ◆登録制・・・初めて利用する方は、事前に利用者登録が必要です。
- ◆問合せ・・・090-1641-6385 代表：大屋 充さん

一緒に活動してみたいという方がいれば、美幌子ども食堂代表に連絡してくださいとのことでした。

### ※新型コロナウイルス対策のお知らせから

- ◆体温38度以上の方のご利用はお控えください
- ◆くしゃみ/咳等の聖衆で出ている方のご利用はお控えください

※緊急事態宣言が解除となり、日本各地で時短制限が解除されました。しかしながら、基本的な感染症対策はしっかり行って、日常生活を送ることが求められています。お互いに注意した生活を心がけましょう。

### 学校運営協議会が開催 活発な討議

協議会で話し合われたことから

#### <家庭学習の取組>

◆評価の中で、学習理解面で十分に理解できていない傾向の子が見られ、どの学校も家庭学習への取組に課題があることを取り上げていました。対策として、小中学校が連携して家庭学習の充実に取り組むことになりました。

<意見>小学校での基礎学力を身につけるべき時に身につけていなければ、中/高と進んだ時、とても苦労する。基礎事項の確実な習得に力を入れて指導して欲しい。

◆読解力の定着に関して、読書が取り上げられ、長文を読むことが苦手な子が多いが、最近は、傾向として短い文しか読まなくなっている。長文を読む根気強さも育てたい。

#### <挨拶>

◆元気な挨拶をする子が増えてきたが、まだ苦手な子もいるので声掛けしたい。

◆地域の方の見守りもあり、大きな声で挨拶する子が増えている。教職員の関わりや指導も必要。

#### <タブレットの活用>

◆GIGA スクールにのっとり、積極的に活用されている。一人に1台タブレットが与えられ、学習に活用している。今後、オンライン学習でも使えるように、家庭への持ち帰りの検証も進めている。

#### <意見>

◆保護者には、パソコンの使用に不得手な家庭もある。(何ができて、何ができないか知らせてほしい。(家庭により格差が生じるのではないか?)

◆タブレットが身近にあることにより、使用時間が増えるのではないか?(使い方の指導)

#### <その他>

どの学校も、前期の学校運営には、コロナ対策を基本に取り組んでいました。多くの意見として、

- ① 学校と保護者の関わりが少なかった。残念(学校行事参観日、家庭訪問の縮小)、
- ② 児童生徒にとって思い出となる行事を体験させなかった。(時期変更、縮小して実施しています)
- ③ いじめ等の対応(教師の見えないところでもあることや、SNSなどでのいじめの不安がある)など意見がありました。